

Q8163

高速偏波可変：500回転ポアンカレ球 / 秒以上
低挿入損失変動：±0.005dB以下
低挿入損失：3dB以下



Q8163

偏波スクランブラ

Q8163はアドバンテスト独自の偏波可変方法を用いた偏波スクランブラです。

高速の光ファイバ偏波制御器の採用により、

- ・高速偏波可変速度
- ・低挿入損失変動
- ・低挿入損失
- ・高信頼性

を実現いたしました。

低偏光依存性、高速測定の光パワー・メータのQ8221シリーズとLD光源を組み合わせることにより、高速、高精度の偏光依存損失(PDL)測定が可能です。

また、OTDRなどの光測定器の入力に接続して偏光依存性を低減させることが可能です。

PDL : Polarization Dependent Loss.

性能

使用波長範囲：1.29 ~ 1.58 μ m

挿入損失：3dB以下

挿入損失変動：±0.005dB以下

リターンロス：43dB(47dB Typ.)

偏波可変速度：500回転ポアンカレ球 / 秒 (Hi speed)
10回転ポアンカレ球 / 秒 (Lo speed)

入出力コネクタ：FC-SPC

外部制御：GP-IB標準装備

使用環境：温度 +10 ~ +40℃, 相対湿度85%以下(結露しないこと)

保存環境：温度 -20 ~ +60℃, 相対湿度90%以下(結露しないこと)

電源：AC90 ~ 250V, 48 ~ 66Hz, 36VA以下

外形寸法：約88(H) × 330(W) × 450(D) mm

質量：10kg以下

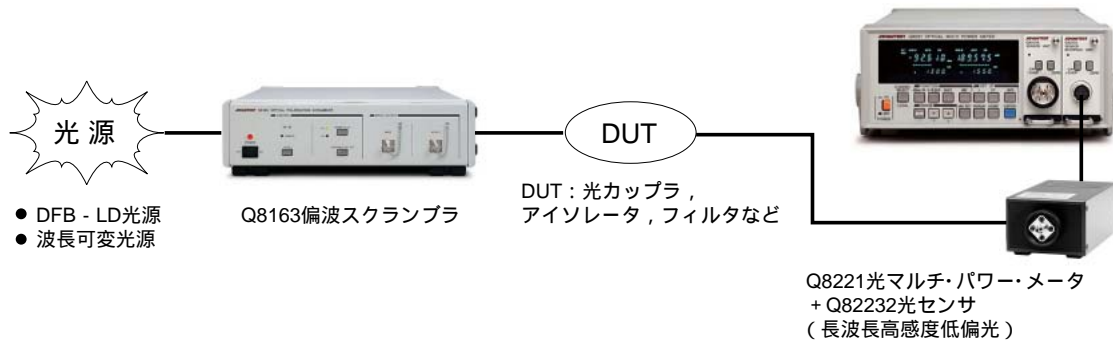
<オプション13> コネクタ付光ファイバ出力

・本体と同時に発注願います。

FC-SPCコネクタ付光ファイバ(ファイバ長2m)にて出力するオプションです。

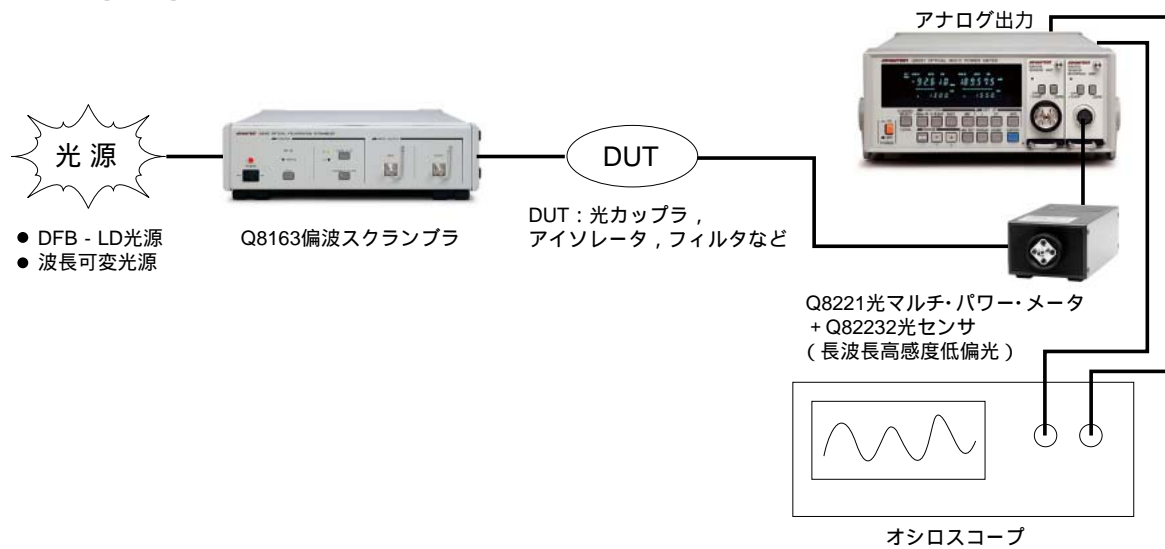
被測定デバイスと融着して使用することが可能になります。

1. 偏光依存損失(PDL)の測定



実際にあらゆる偏光状態について測定するため正確にPDLを測定できます。
上記の組み合わせにて、PDL = 0.2dBの場合に1秒以下で精度よく測定できます。
また、波長可変光源を使用することにより、PDLの波長依存性を高速に測定できます。

2. 偏光依存損失(PDL)の調整



アナログ出力をオシロスコープでモニタする事により、PDLの変動をリアルタイムに監視できます。
製造ラインでの調整が、容易に行えます。

3. 測定系の偏光依存損失の解消



測定系の残留偏光依存性が問題となる場合、測定器の前にQ8163を使用することにより、より高確度な測定ができます。
PDL測定においてもQ8163を2台使用することにより、さらに高精度の測定が可能です。